地方創生インターン ッ レ テ ク

TURE-TECHの実施結果報告書











令和3年12月3日

人 事 秘 書 課 (嘉麻市へ Ture-Tech 委員会!)

1 TURE-TECH (ツレテク) の概要

(1) 事業の概要

ソフトバンク株式会社(以下「ソフトバンク」という)が実施する地方創生インターン事業。次の世代を作る「変革 リーダー」を目指す学生のための地方創生インターンシップ・プログラム。

ソフトバンクは人材発掘の機会を、自治体は優秀な学生から地域課題の解決の提案を、学生は学びの機会を得る3者にとって Win -Win のモデル事業。



8月~9月の連続する4日間、2,000名を超す学生応募の中から選考された約30名の学生が自治体に滞在し、フィールドワークを中心に地域課題解決策をまとめ、首長に直接提案するもの。

※ 令和 3 年度は、嘉麻市及び愛媛県新居浜市で実施。応募学生は 2,479 名。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学生はいずれもオンライン(自治体非滞在)により実施。

(2) 事業の役割

区分	事業運営	費用負担
ソフトバンク	社員が事業期間中に自治体に滞在し 各種調整を行う。	学生・社員の宿泊滞在費など、運営に必要な 経費
自治体	地域課題の解決に向けた学生のサポートや研修場所の確保など	学生等の送迎費(移動手段) ・近隣空港等拠点⇔宿泊場所⇔研修場所 ※ソフトバンクに支払う金銭的な負担はない

2 本市での事業実施結果について

(1) 本市での事業実施体制

本市の職員体制として、令和 2 年度に TURE-TECH 事業を誘致するために組織した「嘉麻市へ Ture-Tech 委員会! (かましへつれてくいいんかい) 」を中心として今回の事業を推進した。

区分	氏名·職名		
統括リーダー	小林地域活性推進課長		
副リーダー	原田人事秘書課参事 (地域課題担当)	中島産業振興課長補佐(おもてなし担当)	
メンバー (サテライトオフィス関係 者)	平川人事秘書課長 松隈地域活性推進課長補佐 山口地域活性推進課係長	篠崎産業振興課長 穴見産業振興課係長 児玉企画財政課主任主事	

(2) 本事業の実施内容

▶ 実施日

令和3年9月12日(日)~9月17日(金)

- ·9月12日 学生事前研修
- ・9月13日~9月16日 課題への取り組み
- ・9月17日 市長へ課題解決策のプレゼン実施

> 実施方法

完全オンライン実施

- ・学生及び学生を指導するソフトバンク社員は非現地からビデオ通話等を活用
- ・事務局のソフトバンク社員3名は嘉麻市庁舎で業務
- ・市職員は、インタビュー対象者へ訪問するなど、適宜学生をサポート

> 参加者

- •学生 29 名
- ・ソフトバンク社員 13 名 (事務局社員 3 名含む)
- ・嘉麻市職員24名(プレゼン出席者含む)



> 地域課題解決策提案の採択状況

チーム	地域課題名	関係課	採択結果
A	市産品を活用したご当地商品の開発について	産業振興課	前向きに検討
В	松岡家住宅の持続的な活用をめざした事業モデルの創出 (「文化財の保存と活用」の嘉麻市モデルの創出)	生涯学習課	前向きに検討
С	日本酒による嘉麻市ブランディング戦略構築	地域活性推進課	採択
D	関係人口の創出施策	産業振興課	採択
E	ふるさと納税額の更なる発展に向けた戦略施策	企画財政課	採択

※ 各地域課題の仕様書及び市長へのプレゼン資料については、令和3年9月29日付メールにて報告しております。(件名: Ture-Tech 事業での嘉麻市地域課題に関する提案内容等の情報共有について 送信者: 小林地域活性推進課長)

(資料掲載場所: サイドブックス>嘉麻市議会>執行部より報告資料>Ture-Tech 事業)

> 採択結果に基づく市の方針

- 「採択」となった地域課題解決策は、必要に応じて次年度に予算化し、事業を推進する。
- 「前向きに検討しなった地域課題解決策は、関係課で事業化に向けた検討を行う。

(3) 事後研修

> 実施日

令和 3 年 11 月 20 日(土) ~ 11 月 21 日(日)

▶ 参加者

・29 名 (内訳: 学生20名、ソフトバンク社員9名)

> 実施内容

・学生やソフトバンク社員が嘉麻市現地で地域課題に関係した場所や市民を訪問し、嘉麻市の地域課題の見識を深める。

・宿泊先:カホアルペ

スケジュール等

		-				
	参加者	行程·活動内容				
1	全員	福岡空港 ➡ 嘉麻市庁舎見学 ➡ 寒北斗酒造·麟翁寺見学 ➡				
日		益富城跡地見学 ➡ カホアルペ (懇親会・宿泊)				
目						
	A チーム	りんご狩り ➡ バス来る嘉麻(観光まちづくり協会)				
		⇒ 和膳はんなり(ランチ・交流会)				
	B チーム	日天宮 ➡ 松岡家住宅 ➡ 射出引神社 ➡ 山田				
		饅頭・ココメシオ ➡ 常盤館(ランチ・交流会『松岡				
2		家住宅·庭園保存検討会』14 名)				
	Cチーム	ジャンボンヨーク ➡ 大里酒造 ➡ 嘉穂庁舎(ミーテ	→	みちの	→	福岡
		ィング) ➡ すし勝(ランチ)		駅うすい	ŕ	空港
	Dチーム	馬見神社・りんご狩り ➡ 交流会(移住者) ➡ カ				
		ホアルペ周辺散策 ➡ sleepy cafe nico(ランチ)				
		➡ ジャンボンヨーク・大里酒造				
	E チーム	赤崎牧場(飼育体験) ➡ おおくぼ明太子				









①寒北斗酒造 ②③益富城址(城山) ④麟翁寺

3 今回の事業効果について

本事業の効果について、事業実施前に想定した効果と、実施後の効果を比較した。(下表参照)

評価項目	想定した効果	実際の効果	評価
① 交流人口の拡大	学生やソフトバンク社員等 約 50 人へ嘉麻市を知って もらう機会を提供	 ・参加学生・ソフトバンク社員 42 人へ嘉麻市認知の機会を提供。 ・アンケートより、33 名中 31 名が嘉麻市をまったく知らなかった → 全員が「嘉麻市を好きになった」「応援したい」「行ってみたい」と回答。 ・本事業をきっかけに、学生の親族やソフトバンク社員がふるさと納税をしたとの報告があった。 	0
② 優秀な学生からの地域課題解決策の提案	他自治体の例から、採択は 1、2件を想定	・採択数3件 ・学生から採択された事業推進に関わりたいとの関係継続の意思あり ・職員より他の事業にも「部分的に応用できる提案があり参考にしたい」、「改めて嘉麻市の魅力を実感した」との意見あり	0
③ インターンシップに携 わる職員の人材育成	課題抽出から、政策形成・企画書作成力の向上	・関係職員とコンサルタント会社との3度にわたる 壁打ちミーティングの経験。学生が1週間で解 決策を導くための仕様書を作成。 ・関係職員アンケート回答者(12名)全員が「得 るものがあった」と回答。 (例:「課題の設定とその根拠、また課題へのア プローチ方法」「業務に対するモチベーションが上 がったように思う」)	0
④ 話題性の確保	市の取組について、市内外へ発信	・新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言中かつ台風の影響により、市長プレゼンの一般開放中止や新聞各社の取材中止等、市内外への発信が十分に行われなかった。 ・協力いただいた市民・関係者から関心あり。 ・今後提案事業の推進状況について、ホームページ・SNS等で掲載予定。	Δ

※評価··· ◎想定した効果を上回る ○概ね想定どおり △効果を下回る ×効果なし

事業予算

・本事業実施時 … 嘉麻市費用負担なし

(ソフトバンク事務局滞在費、オンライン通信機器、通信費等はソフトバンクで負担)

・事後研修時の移動費(バスの借上げ代) 132,000 円は市で負担

内訳 1日目:福岡空港 ~ 嘉麻市内 ~ 宿泊先

2日目:宿泊先 ~ 嘉麻市内 ~ 福岡空港

・その他 航空賃、宿泊費、食費等はソフトバンク又は参加者で負担

> 反省点

事業に携わった職員と、それ以外の職員間に温度差があるとの意見があったため、今後同様の事業を実施する場合において、可能な限り全職員と事業の進捗状況等の情報共有を図る必要がある。

> 事業の総括

コロナ禍の中での初めての取組であり、台風等の自然トラブルや事業運営上の反省すべき点はあるが、事業全体をとおして想定を上回る効果があったと考えられる。また、市の費用負担は市内バス事業者からのバスの借り上げ料のみであり、宿泊料や食事代など嘉麻市内での消費を勘案すると費用対効果にも優れた事業であったと考えられる。

4 今後の展開

採択結果に基づく市の方針(再掲)

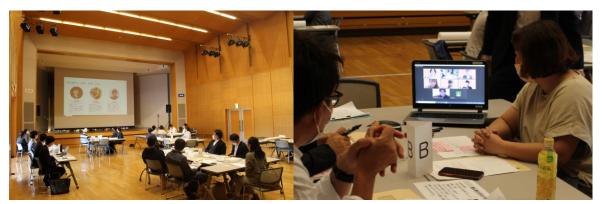
- 「採択」となった地域課題解決策は、必要に応じて次年度に予算化し、事業を推進する。
- 「前向きに検討」となった地域課題解決策は、関係課で事業化に向けた検討を行う。

> 学生との関わり

● 提案いただいた学生より、今後も関与いただける場合は、Zoom 等で連絡を取りながら、事業や事業化 に向けた取り組みを進める。

事例

- ・Eチーム(ふるさと納税関係、企画財政課担当)
 - ・R3.10.28 第1回嘉麻市ふるさと納税活性化協議会「モノコト会」開催
 - ⇒ 学生、市内ふるさと納税関係事業者約20社、ふるさと納税コンサルタント会社、嘉麻市が一 堂に会し(遠隔含む)、嘉麻市のふるさと納税に関する種々の活性化策を協議する



> 次年度の実施

事業の総括のとおり、本市にとって効果をもたらす事業であることから、次年度も同事業の実施を目指した誘致活動を行う。

(参考)

▶ 本年度実施までの経過について

·誘致活動経過

R2.4	ソフトバンクより事業提案	
	令和3年度の事業実施誘致の決定	
	誘致の組織体制の決定	
R2.6	事業実施推進体制の名称を決定 「嘉麻市へ Ture-Tech 委員会!」	
	事業の推進について職員へ周知	
R2.7	地域課題募集(原則1係1提案)	
R2.8	地域課題募集〆切(応募数 50 課題)	
R2.9	地域課題1次選考(13課題が2次選考へ)	
	地域課題 2 次選考(最終合格 13 課題)	
R2.10	ソフトバンクに次年度の事業実施候補地への意思表明	
R3.4	嘉麻市での開催決定	
R3.5	地域課題最終決定(5 課題)	
	地域課題解決策提案の仕様書作成	
R3.6	事業実施キックオフ	
	地域課題仕様書 壁打ちミーティング (各課題6月~7月で3回)	
R3.9	オンラインで TURE-TECH 実施	
R3.11	学生、ソフトバンク社員合わせて 33 名が嘉麻市で 1 泊 2 日の事後研修。	
	(宿泊先:カホアルペ)	